



新政会
本間 保昭

総合交流ターミナルたきかわの 経営状況について

質問 平成29年度の収支は、約270万円の赤字となっている。管理組合への指定管理期間は30年度までで、このままだと期間を満了することが困難なのではと危惧するが、現状と対策について伺う。

答弁 管理組合は、入館者増や売上増に向けた取り組みと経費節減により収支改善を目指しましたが、残念ながらご指摘のとおりとなったところだ。この決算を受け、市としては、役員会への出席や毎月の収支状況の把握などを行っており、今年度末までの指定管理期間については満了できるものと考えています。引き続き、管理組合とともに集客と商品の充実とさらなる経費の節減に努め、収支改善に取り組みたいと考えています。

質問 31年度以降の管理体制はどうするか。

答弁 今後も地域の皆さんに担っ

ていただきたいと考えていますが、早急に検討を進めたいと考えています。

農村環境改善センターとの連携 について

質問 改修の準備が進められている農村環境改善センターは、道の駅に隣接していることから、両施設の魅力を高めるために関連性を意識した改修を行うことが重要だと思う。その状況と内容について伺う。

答弁 農村環境改善センターは、主に江部乙地区の住民サービスを支える役割を担いますが、新たに人が集うための機能を加え、魅力ある施設づくりに取り組みたいと考えています。

道の駅との連携については、関連する所管などと情報交換を行い、効果的な管理運営など連携の在り方について模索しているところだ。

江部乙地域の活性化を担うための役割は何か、道の駅との連携で相乗効果を発揮できることは何かを精査し、その方策を検討していきたいと考えています。



公明党
堀 重雄

健康診断について

質問 小児がんの一つに「網膜芽細胞腫」というがんがあり、早期発見によって眼球摘出を免れる可能性が高いと言われているが、乳幼児健診の「眼」の項目に「白色瞳孔」「斜視」を追加してどうか。本市の見解を伺う。

答弁 本市では4～5か月、9～10か月、2歳の健康相談時に保健師が体の状態を観察し、1歳6か月、3歳児健診に小児科医の診察があります。今後は眼の問診とともに、医師診察ではペンライトを使用し、異常が見られる場合は眼科受診を勧めます。

質問 胃がんのリスクが高いといわれているピロリ菌検査に対する本市の見解を伺う。

答弁 ピロリ菌は、胃がん発症に関わる要因の一つと考えられていますが、国のガイドラインでは、ピロリ菌の除去による死亡率低下の実証が不十分なため、任意型検

診として位置づけられています。本市でも胃がん検診時のオプショ

食品ロスについて

質問 食品ロスの削減は、地球規模の課題となっている。国連は、2015年に採択した持続可能な開発目標に2030年度までに食料廃棄を半減させる目標を掲げている。国も都道府県も取り組みを始めた。本市においては、30・10運動を市長みずから率先しているが、平成30年度の取り組みと中長期的な目標を伺う。

答弁 食品ロスの問題に対しては、環境省、農林水産省、都道府県、全国の市町村において削減の取り組みが実施されています。本市では、29年度、年末年始の宴会シーズンに食べ残しを減らすための実践の普及に努めました。30年度も町内会の班回覧や滝川消費者まつりで、食品ロス削減のチラシを配布するなど、啓発を行います。中長期的には、事業者でもできる取り組みについてもホームページなどで周知したいと考えています。